

科目名	担当教員名	学期
アメリカ会計制度論 Financial Reporting System in America	長谷川 茂男	後期
目的	国際財務報告基準（IFRS）の基礎となっているアメリカの会計基準（米国基準（US GAAP））とアメリカの会計・開示制度を理解する。	
概要	アメリカの会計基準・会計制度の歴史と内容を解説し、IFRS との比較にも言及する。	
到達目標	アメリカの会計基準と会計制度の概要を理解する。	
成績評価の基準と方法	出席（20点）と2回の理解度チェック（80点）合計100点 60点以上合格を原則とし、相対評価により評価を決定する（得点上位からA：20%、B：40%、C：30%、D：10%）。	
履修条件	「国際会計」の単位を取得していること。	
授業計画		
第1週	FASB とは、SEC とは	
第2週	米国と日本の比較、米国基準を取り巻く環境（第1章）	
第3週	SEC 関連規定と様式 20-F(第2章)ーソニーの 20-F と有報	
第4週	監査基準(第3章)、コーポレート・ガバナンス(第4章)	
第5週	米国基準と IFRS(第5章)、基本的考え方（第6章）	
第6週	時価会計(第7章)	
第7週	連結と企業結合(第8章)、理解度チェック	
第8週	理解度チェックの解説、表示と開示(第9章)	
第9週	株主総会、資産(第10章)	
第10週	負債（第11章）、収益と費用（第12章）	
第11週	法人税（第13章）、連結(第14章)	
第12週	デリバティブ（第15章）、米国基準の理論性（第16章）	
第13週	東芝事件とソフトバンク	
第14週	英語の基準書、理解度チェック	
第15週	理解度チェックの解説、まとめ	
テキスト 参考書等	【テキスト】 200 ページ程度のレジメと追加資料を配布する。 【参考書】 ・『米国財務会計基準の実務第9版』長谷川茂男著（中央経済社、2016年）	
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業の中で、数問の計算問題等を実施する。 ● 予習については、1時間程度、次回の部分のテキストを読むことを想定。 ● 復習については、配布資料とテキストに関して、30分程度、第1週で渡す「各週の主な重要事項」の答えを考えることを想定。 	